

「G空間EXPO2012」について（報告）

平成24年4月5日
G空間EXPOワーキンググループ幹事

1 目的

「G空間EXPO」は、地理空間情報高度活用社会（G空間社会）の実現に向け、関係する様々な分野の技術・製品・サービスが一堂に会し、展示会や講演・シンポジウム、体験イベント等を通して、ヒトやモノの交流を創出することにより、G空間分野の裾野を広げていく場として、産・学・官の連携のもと開催されるものである。これにより、新たな産業・サービスの創出や既存のサービスの高度化・発展に関する民間の提案や創意工夫を発掘し、地理空間情報を活用した産業創出や衛星測位の利活用の推進を目指すものである。

このため、地理空間情報産学官連携協議会にG空間EXPOに関するワーキンググループを設置してG空間EXPO実行委員会を立ち上げ、2010年9月に「G空間EXPO」を開催した。

G空間EXPO2012においては、ビジネス層及び一般の方々を対象に、G空間ビジネスを視野に入れた展示会、シンポジウム、体験型催し等により展開することになっている。

2 概要

- 名称 G空間EXPO2012－暮らしをささえ、国土をまもり、未来を創る－
- 会期 平成24年6月21日（木）～23日（土）の3日間
- 会場 パシフィコ横浜〔横浜市西区みなとみらい1-1-1〕
- 対象 ビジネス層及び一般
- 入場料 無料
- 主催 G空間EXPO実行委員会
- 後援 神奈川県、横浜市
- 来場者 2～3万人〔3日間延べ〕（見込み）

3 現在の出展状況等

- (1) 展示会出展申込状況〔平成24年3月30日現在〕
108者301小間
- (2) 講演・シンポジウム実施申込状況〔平成24年3月30日現在〕
19プログラム

4 G空間EXPO2012に向けたこれまでの主な取組み

- テーマ、キャッチコピーについて
 - テーマ
 - ・「新マーケット」の開拓、「新技術、新サービス」の創造
 - ・「宇宙技術」の利用
 - ・「安全安心」への貢献
 - キャッチコピー
 - －暮らしをささえ、国土をまもり、未来を創る－

■ 広報について

○ ポスター

平成24年2月20日に公式WEBサイトで公開し、3月から配布を開始した。

○ リーフレット

日本語、英語、中国語、韓国語で作成し、公式WEBサイトで公開した。

○ 公式WEBサイト

平成24年1月27日に、ビジネス向けに改修して公開した。

○ メディアパートナー

国内、海外のメディアへ協力要請し、計13社とパートナーとなった。

■ G空間EXPO2012のプレイベントについて

構成員により10回のフォーラム、シンポジウムが開催された。主なものは以下のとおり。

(1) 第22回応用測量技術研究発表会

■日時:平成23年9月20日(火)

■場所:測量年金会館(東京都新宿区)

■主催:(社)日本測量協会

■概要:地理空間情報の整備の担い手であると同時に、地理空間情報の利活用の推進役としての役割も求められている測量に関する「技術研究発表会」を行った。

(2) 関西G空間フォーラム

■日時:平成23年11月21日(月)～22日(火)

■場所:建設交流館(大阪市)

■主催:国土地理院 近畿地方測量部

(社)地理情報システム学会関西支部 他

■概要:地理空間情報に関わる技術開発、研究、ならびに関連産業の動向についての情報提供・意見交換等を行った。

(3) G空間WAVE2011 CSIS+gコンテンツワールド

■日時:平成23年11月24日(木)

■場所:東京大学駒場リーサーチキャンパス(東京都目黒区)

■主催:東京大学 空間情報科学研究センター

gコンテンツ流通推進協議会

■概要:今後のG空間社会のあり方について、学術的な視点とビジネス的な視点での講演及びパネルディスカッション等を行った。

(4) 地理空間情報に係る産学官連携強化シンポジウム

■日時:平成24年1月23日(月)

■場所:すまいるホール(東京都文京区)

■主催:国土交通省 国土政策局 国土情報課

■概要:地理空間情報が導く未来の姿を考えるため、基調講演、特別講演、及び産業界、学界、行政(国及び地方公共団体)の三者によるパネルディスカッション等を行った。